

R18
ADULT ONLY

勇者達は
なにも
忘れ
て
か
も





ちよえつす
勇者のレオです
勇者と言つても
なりたてホヤホヤ

ろくに戦う力も
ございやせんが
世の平和を乱す
魔王を
退治する旅に出ます



旅の仲間はおるかー！
魔王討伐の
冒険に出るぞー！



魔王討伐？
こんな
ちんちくりんが？
しょーみなハナシ
着いて行く気になど
ならんわ

せめて
もうちよつと
鍛えてから
来いよ



こいつを
ブツ殺して
死体を
持ってこい
さすれば
貴様を
一人前の勇者と
認めてやらん
こともない

うーん
世知辛い



そうだ
湖に出るといふ
魚の魔物が
人間の子供を
取って喰うと
もつばらの噂だぜ

ほれ参考資料



というわけで
魚の魔物が
居るとい
湖に到着です

あ…っ



!!
いかに
何故か
見とれ
しまった
た!

うむ、特徴は
手配書と
完全一致…!

ドキッ



死にさらせーッッ!
人食い魔物ーッ!

ぬぬぬ

あ



…その子供、
迷子ですか?
お困りであれば
人里の近くまで
案内しますが…



正当防衛
とはいえ
思い切り
吹き飛ばして
しまつて
申し訳ない

どうやら何か
誤解を
されている
ようですね

よければ
話し合い
ませんか？

…はい…



ツエッドさんは
魔物でもなく
人間でもない
魚と人間の交配種

半魚人だそうですね

先日湖で
溺れていた子供を
助けたのですが
その話に
尾ひれが付いて
人喰い魔物などと
噂になつて
いたのですね

ツエッドさんを
創つた人は
亡くなつていて

同族もいないので
彼はずつと
一人で
生きてきたそうです



そのような
噂が立っている
しほらくは
僕を狙う者が
やってくるでしょう

数カ月…
半年…
いや、一年は
ここを離れたほうが
よさそうです

…ツエッドさん



僕は
こんな見た目
ですから
人里に住まう
訳にもいきません

この静かな
湖を眺めながら
穏やかに
過ごせれば
それで
良かったのですが…



あの…
もしよければ
僕と一緒に
魔王討伐の
冒険に
行きませんか？

さつき浴びた
ツエツドさんの
風の魔法は
かなり
強烈でしたし…

あれなら
何が相手でも
簡単には
負けませんよ！



それに魔王を
倒した
勇者の仲間
ともなれば
超有名人！

一目置かれて
どこへ住むにも
苦労することなんか
なくなりますって！

…勇者様…

なんと水臭い！
レオで
構いませんよ



ふふ…では、
レオくんと
呼ばせて頂きます

こうして僕と
半魚人
ツエツドさんの
冒険の旅が
始まったのです！





酷い雨でしたねー
とりあえず
近くの村に着いて
良かったです
宿も運よく
空いてたし！

：レオくんが
買ってくれたが
ロープのおかげで
騒ぎにならずに
村に入ることが
出来ました。
ありがとうございます

グハッ



いやあ
相部屋しか
空いてなくて
申し訳ない！
どうぞごゆっくり



いーんですよ
そんなの！
早く魔王を倒して
顔隠さなくても
堂々と
出入りできるよーに
しましよーね！

：レオくんは
とても
親切ですね
君と旅を
していると
毎日が楽しい

グハッ
グハッ



えっ!?
も…も！っ
何言ってるんすか！
ツエッドさんて
真面目で
紳士だけど
急に変わったこと
言うから
吃驚しちゃい
ますよー

おは



これは相手が
レオくんだから
楽しいん
でしょうか？



あんなに



あんなに

あんなに

あんなに



あんなに

あんなに

あんなに



僕
オンナだから
ついてない
っすよ?

え?
男性器って
おちんちんの
ことっすか?

ああ、
そうなん
ですか!



男性器は
どこに
仕舞って
あるんですか?



...あの
レオくんは



すいません僕
レオくんのこと
勝手に
男性だと
思っていました

あはは：
僕の居た村って
同世代は皆オトコで
僕も男の遊び
ばかりして
育ちましたからねー

女らしいところ
なんか
皆無だし：
おっぱいも
小さいから
誤解するの
無理は
ないですよー！



ツエ…ツドさん？
あの…それって…
おちんちん？
ですよ…？

え？な、なんで
おっきく
してるん
ですか…？
ていうかそれ
本当に
おちんちん
ですか…？





性的興奮を得た
哺乳類の雄が
陰茎を
立ち上がらせる
現象...



もしやこれは...



こんな状態に
なったのは
生まれて
初めてです！

この数日
レオくんを
見ていると
たまに股間が
むずむずするよう
な感覚は
あったのです

それも勃起と
関係あったん
でしょうか？

ああそうか
つまり僕は
レオくん
性的興奮を

ちよちよちよ
ちよちよちよ
ちよちよちよ！



しかし困りましたね
一応僕のせい
みたいです...
と、とりあえず
「抜く」？
ってやつを
しますか？



ちよと...
唐突すぎて
話についで
行けませんっ
落ち着いて
くださいよう

はい
すみません

うーん
この素直さは
怒れない



村の子たちが
遊び半分で
よく
やってみましたよ

僕は女なので
見たるだけ
でしたけど...

その...
おちんちんを
こっちは...

え...
あっ...
レオくん!?

フムフム

フムフム

擦るのたまさか
すれちゃう...

男の子は
すこしく
気持ちいいん
ですって...♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



おちんちん...
レオくん...♡

うわ...
ツエツエ...
本当におっきいな...

♡♡♡

♡♡♡♡♡...♡♡♡♡



え?!

おちんちん...
おちんちん...
おちんちん...



初めての射精で
動揺する
ツエツドさんを
見ると
何だかフワフワ
してしまっで！

っいあんなことを
言っっちゃったけど
すぐには
後悔しました！

ツエッドさんは
この日以来
ちよくちよく
勃起するようにな
ってしまっで...



その度に
僕が
手伝うはめに...





「このまままだと
ダメだ...」

「うわ...」

「僕もしかして
甘えられてるの
かな...♡」

「ん...
このまままだと
ダメだ...」

「宿屋だって
僕と
同室じゃないと
嫌がるように
なりました」

「レオナルド
僕、今も
同室が...」

「うわ...」

「うわ...」

「うわ...」

「ん...」

「ん...」

「ん...」



「それに本能的な
ものなのか
僕に挿入しようと
する時が
たまにあつて...」

「うわ...」

「うわ...」

「このまままだと
ダメだ...」

「うわ...」

「うわ...」

「うわ...」

「うわ...」

「うわ...」

しかし……

なんだかんだと
ありましたか

ついに魔王城の
見える場所まで
やってきましたよー！

ツエッドさん……
二人で魔王を
倒し
ましょうね！

……

一泊！
2人部屋で
お願いします！

あいよー

朝になったら
この宿を出て
魔王城まで
一直線です！

おー

あ……？

気合を
入れないと
ですわー

ザ

あー



え...あの...っ
ツェツェさんっ!?

ど、どーしたん
ですか?
こんな...
抱き着いたりして...

小さい子
みたいです
ですよ??

ツェツェ
ツェツェ
ツェツェ
ツェツェ



放して
ください...
ね...??

レオくん...僕、



あ...♡また
おちんちん
大きくしてるん
です...♡

ほら...っ♡
いつもみたいに
抜いて
あげますから
いい子して

ツェツェ
ツェツェ
ツェツェ

ツェツェ
ツェツェ



いま
ここで…
君を
孕ませます



…僕のような
中途半端な
存在ではなく…
普通の…
人間の雄から…

僕はそれが
どうしても
許せない…



…は…？

孕ませ…
え？



このまま
魔王を倒せば
レオくんは
僕を置いて
自分の村へ
帰るのでしよう？

そこで
勇者として
崇められ…

きつと
色んな雄から
求婚されます



レオくんを手放したくない...

僕が...! レオくんのつがいに...なるんです...っ!

もう独りにはなりたくない...

シヒメちゃん...

あーっ

ドキッ

ズッ



ツエッドさん...っダメですっ...!

あーっ

ちゅんっ



あ、赤ちゃんなんて...っ

んっ



レオくん...僕赤ちゃんの作り方、知ってますよ...

はーっ

ここに...僕の赤ちゃんをいれて...

レオくんの赤ちゃんの部屋に...射精するんですよね...?

はーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



僕も最近
すっごく...♡
おかしくな...♡

ガチガチ

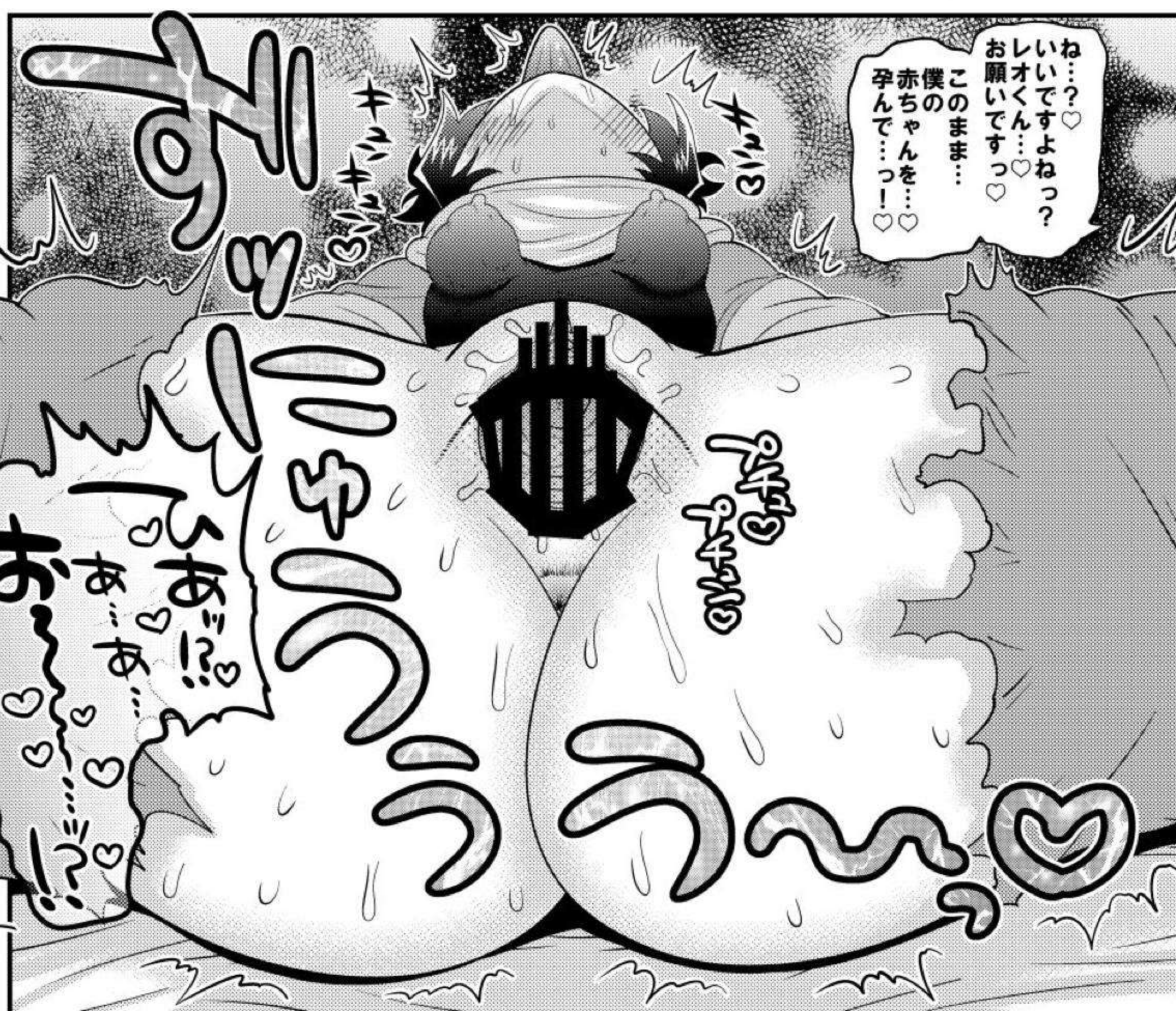
だ、だって...
ツイエッドさんが
毎日あんな...
ガチガチの
おちんちんを
見せて♡
擦りつけて
くるから...♡

ブーン
ブーン



でも...
レオくんの
ここっ...♡
てらてらで...
ぬめっていて...♡
僕の赤ちゃんを
作る準備が
できて
いますよね...?

ジュウ
ジュウ



ね...?♡
いいですよねっ?
レオくん...♡
お願いですっ♡
このまま...
僕の
赤ちゃんを...♡
孕んで...っ!♡

ジュウ

ジュウ



いじやないや...
ツエッさんの
ことは...
ないや...
いじや...
いじや...
いじや...

でも...
赤ちゃんは...
だめっ♡
ま、ま...
たおせな...
なってる...
う...
う...

僕に
とっては...
魔王の
ことより...

レオくん♡
一緒に♡
いること♡
の♡
ほ♡う♡が♡
大♡事♡な♡
で♡す♡っ♡
♡



もお...♡
わがま...♡
いうな...♡
あ...♡
あ...♡
あ...♡

あっあっ...♡
レオくん...♡
出ますっ♡
赤ちゃんのも♡
あ...あ...♡
あ...あ...♡
あ...あ...♡





ええ!? 困るんだよなあ 急にそんな...

すみません 宿泊を 延長します

お客さん 一泊の ご予定 でしたよね?

もうとっくに 部屋を 出たいた だけで すけど...!

僕はそれから
毎日毎日...♡

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

宿で
ツエッドさんと
子供作リセックスを
続けました...♡



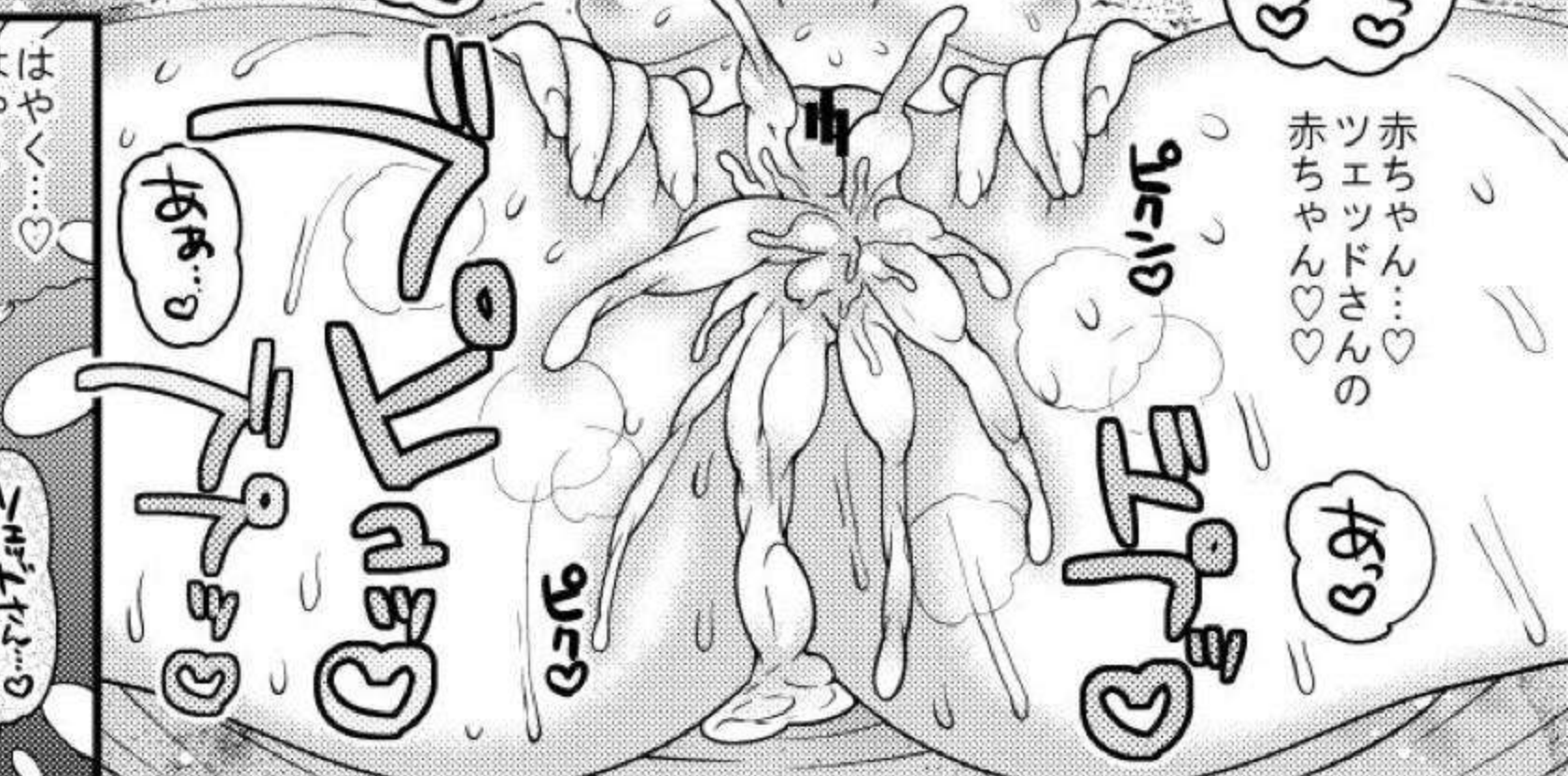
寂しい思いを
してきた
ツエツドさんの
ために...♡
赤ちゃんを
いっぱい産んで♡

ツエツドさん...
孤獨を消して
あげたい...♡
その心で
頭がいつぱい
なって...♡



赤ちゃん...♡
ツエツドさんの
赤ちゃん♡♡♡

はやく...♡
はやく...♡
はやく...♡
はやく...♡





お強い旦那様が
いらっしゃるなら
安心ですからねえ♪



ええ、ええ。
お連れ様にとって
魔物の出る旅路は
危険でしょうが…

はい…
僕の住んでいた
土地に帰って
そこに
永住しようかと



左様で
ございますか
ではもう
旅立たれて
しまうの
ですねえ



ん？
ご機嫌だなあ♡

あぶーっ♪
あぶーっ♪



…



あそこは
湖の見える
綺麗な
ところなんだ
パパとママは
そこで
出会ったんだけど…

これから三人で
パパの住んでた
お家に帰るんだぞ
楽しみだなー！？



レオくん

二人で旅に出たのだから…

何か目的があったような…

…そういえば僕とツエッドさんはどうして湖で出会ったんだっけ？

…行きましようか



ゆうしゃたちはなにもかもわすれて

のこりのじんせいをへいわにすこしました



はーん



こっちは暇では無いんだがな…

…遅い…
どうなってるんだ
今回の勇者は！
魔王城まで
来やしない！

■ 奥付
 ■ 「勇者達はなにもかも忘れて」
 ■ 印刷 丸正インキ様
 ■ 発行日 2017年5月3日
 ■ 発行者 ナユザキ ナツミ
 (ぼたもちの宴)

■ 連絡先
 (HP) <http://navuzaki.x.fc2.com/>
 (pixiv ID) 244834
 (twitter) <http://twitter.com/navuzaki2>

この本は個人の二次創作であり
 関係者様各位とは
 一切関係ございません
 無断転載・ネットオークションへの出品
 webへのアップロード等
 一般の目に触れる場所への
 公開は一切厳禁です
 また、この本は成人向けの為
 18歳未満の観覧はご遠慮ください



ぼたもちの宴





勇者達は
なにも
忘れ
ないで



ぼたもちの宴

